

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策I-5-2  
人材の育成・定着

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

総務部総務課長 鎌谷 正文

電話番号

0852-22-5011

事務事業の名称	中山間地域・離島での資格取得促進事業	
目的	(1) 対象	中山間地域・離島の事業所へ就職しようとする大学生等の奨学金受給者
	(2) 意図	奨学金の償還を減免することにより、中山間地域・離島の生活基盤を支える人材を確保し、産業・企業の維持を図る。
事業概要	大学・高校等を卒業後、直ちに中山間地域・離島の事業所に就職し、実務経験を通じて国家資格等の取得を目指す者に対して、島根県育英会又は日本学生支援機構への奨学金返還額の一部又は全部を助成する。	

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	助成決定者数	目標値			25.0	25.0	人
	式・定義	要件を満たし助成を受けた人数	取組目標値					
			実績値					
			達成率	-	-	-	-	%
2	指標名		目標値					
	式・定義		取組目標値					
			実績値					
			達成率	-	-	-	-	%

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	3,750	3,750
うち一般財源 (千円)	3,750	3,750

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・平成28年度から現時点まで、島根県育英会のホームページに制度案内を分かりやすく掲載するほか、学校向け（中学校・高校向け説明会、大学・専修学校個別説明、県外大学へのチラシ配布・メルマガ案内）、企業等関係者向け（建設業協会・企業ガイダンス・市町村説明会等）に制度の周知を図っている。

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

・奨学金返還額の一部又は全部を助成するための資金を島根県育英会に交付し、募集・選考・給付等のための事務規程を整備した。  
・制度のチラシ、ホームページ等を作成して広く周知を図った。  
・はじめ申込者数が伸び悩んだが、募集期間を延長し、関係機関と連携して再周知を徹底したところ、申込者数が増加しつつある。

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

### ①困っている「状況」

申込者数が、取組目標である25人に達しない

### ②困っている状況が発生している「原因」

対象者に必要な情報が届くような周知が不足している。これはチラシ配布等による制度周知だけでは十分に制度が理解してもらいづらく、場合によっては対象者に個別に説明する必要があるが、そもそも事業を実施する島根県育英会だけでは対象者の把握が困難な状況がある。

### ③原因を解消するための「課題」

中山間地域・離島の事業所への就職を促すためのツールの一つとして減免制度を利用してもらえるよう、さらなる周知を行う必要がある。

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

今後とも島根県育英会において、事業実施に必要な募集・選考・給付・債権管理等の事務が行われるよう補助を継続する。商工労働部、土木部など関係機関と連携し、事業の周知に努める。